

項番	ページ	箇所	誤	正	修正刷	補足事項
1	18	春分		太陽が春分点を通過して北半球に入る瞬間。この日を春分日といい、昼夜の時間がほぼ等しくなる。日本では3月20日か21日。国民の祝日である「春分の日」は、春分日に基づいて政府の官報で公告される。	3→4	解説を差し替え。
2	18	秋分		太陽が秋分点を通過して南半球に入る瞬間。この日を秋分日といい、春分日と同様に、昼夜の時間がほぼ等しくなる。「秋分の日」も官報で公告される。近年は9月23日であったが、2012年以降、閏年に限って9月22日となる。	3→4	解説を差し替え。
3	19	小地形	侵食・堆積作用など外的営力で形成。	おもに侵食・堆積作用など外的営力で形成される。	3→4	
4	30	テベク(太白)山脈	日本海に沿う山脈。標高は約1,500m。	日本海に沿って標高1,000m級の山々が連なる。	2→3	
5	34	水無川	砂礫の堆積の厚い扇状地に形成される。	厚い砂礫層が堆積する扇状地にみられる。	3→4	
6	39	モニュメントヴァレー	ナバホ族の居住地となっている。	ナバホ族の居住地となっている。	2→3	
7	45	ヒートアイランド現象	都市域の気温が周囲の郊外より高くなる現象。都市気候の1つ。夏や昼間より	都市域の気温が周囲の郊外に比べて高くなる現象。植生の減少やアスファルトなど人工被覆域の拡大、人工排熱の増加が原因。夏や昼間より	2→4	
8	45	ヒートアイランド現象		大都市の熱が海陸風で内陸に運ばれて出現する場合もある。	3→4	文末に追加。
9	48	キジルクーム砂漠	しかし、ずさんな計画のために両河川の水量が減少し、アラル海に流入する水量が減少して面積の大幅な縮小を招いた。	しかし、ずさんな計画であったために、アラル海に流入する両河川の水量は減り続け、湖の面積は大幅に縮小した。	3→4	
10	50	寒極	ロシア連邦サハ共和国のヴェルホヤンスクとオイミヤコンで-70°Cに近い低温を記録している。観測の精度に疑問はあるが、ヴェルホヤンスクで1892年に観測された-67.8°C、オイミヤコンで1933年に観測された-67.7°Cが最も低い気温とされる。	ロシア連邦サハ共和国のヴェルホヤンスクで1892年に、オイミヤコンで1933年に観測された-67.8°Cが最も低い気温とされたが、2020年、世界気象機関はグリーンランドで1993年に-69.6°Cを記録したと報じた。	3→4	
11	51	高山気候(H)	気温も位置する気候帯の	気温の年変化も位置する気候帯の	3→4	
12	53	落葉広葉樹	シラカバ・カエデ・アカシアなど	シラカバ・カエデ・カンフなど	2→3	
13	58	地図「世界の海流」		※「ギニア湾流」の流れを追記。暖流の赤色矢印で、西アフリカの海岸に沿って西から東へ。	3→4	
14	62	オンタリオ湖	エリー湖とはウェランド運河によって結ばれる。	エリー湖の水面とは約100mの標高差があるので、8つの閘門(こうもん)をもつウェランド運河によって結ばれる。	3→4	
15	62	イグアスの滝	発電能力1,400万kwで、中国のサンジャ(三峡)ダムに次いで世界第2位。	発電能力1,400万kwで、世界有数である。	3→4	
16	70	西之島	島は拡大を続け、2019(令和元)年9月の面積は2013年の噴火前の約10倍に達している。	島は拡大を続けて旧島と一体化し、2020年6月の面積は4.1km <sup>2</sup> 、最高標高は200mに達した。	2→3	
17	71	東北・北海道型	0°C以下となる。冬の降雪が多く、多くの地点で月降水量が100mmをこえる。	0°C以下となる。降雪量が多いので、冬季の月降水量が100mmをこえる地点が多い。	3→4	
18	77	塩害	潮風や海水が浸入して	潮風や海水が侵入して	3→4	
19	78	生態系	植物や動物の排泄物を	植物や動物の遺骸や排泄物を	2→3	
20	79	里山	人里に隣接した山間地の森林。人間生活と	山間地の集落や農地とそれに隣接した森林地域。人間生活と	3→4	
21	81	環境税	実質的な環境税となっている場合もある。日本では、2012(平成24)年10月から地球温暖化対策税が新設され、2014(平成26)年に増税されたが、以後2016年・2018年と段階的に増税される。	実質的な環境税となっている。日本では、2012(平成24)年地球温暖化対策税が新設されたが、税率が低く効果は疑問。現在、政府は二酸化炭素の排出量の削減に向けた産業構造の転換をはかる炭素税の導入を検討している。	3→4	
22	87	大麦	ウクライナ・ドイツ・スペイン・	ウクライナ・ドイツ・オーストラリア・スペイン・	3→4	
23	105	捕鯨	全面禁止することを決定。現在では、調査捕鯨とグリーンランドおよびアラスカのイヌイトに対し、伝統的な生活を守るとして、毎年一定数の鯨の捕獲が認められている。	全面禁止。調査捕鯨とグリーンランドおよびアラスカのイヌイトなどの伝統的な捕鯨が認められている。日本は2018年IWCを脱退、商業捕鯨を再開。	3→4	
24	114	シェールオイル	2011年にはアメリカ合衆国が石油製品の純輸出に転じるなど、世界の石油需給に大きな影響を与えている。	2017年頃からアメリカ合衆国の石油製品の輸出が次第に増加、世界の石油需給に大きな影響を与えている。	3→4	
25	119	錫	中国・インドネシア・ペルーなど	中国・ミャンマー・インドネシア・ブラジル・ペルーなど	2→3	
26	124	輸出加工区	原料や部品の輸入や製品の輸出に関わる税を免除し、現地の安価な労働力を利用する。	原料や部品の輸入関税の免除や国内税の減免などの優遇措置を取り、現地の安価な労働力を利用する。	3→4	
27	168	TPP	TPP(環太平洋経済連携協定)	TPP(環太平洋パートナーシップ協定)	3→4	
			2017年、アメリカ合衆国は協定への不参加を表明した。2018年12月、日本・シンガポール・カナダ・メキシコ・オーストラリア・ニュージーランドの6カ国で発効。	2017年、アメリカ合衆国は不参加を表明。2018年12月、アメリカ合衆国を除く11カ国はCPTTP(環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(TPP11))を発効、ブルネイ・チリ・マレーシアが未締結(2021年)。		
28	170	農産物貿易の自由化	TPP(環太平洋経済連携協定)でも課題となっている。	TPP(環太平洋パートナーシップ協定)でも課題となっている。	3→4	

29	201	東方正教		コンスタンティノープル(現イスタンブール)を中心として、東ローマ帝国からおもに東ヨーロッパに広まったキリスト教。聖像崇拜問題を契機として、ローマ＝カトリック教会と分裂した。ギリシャ正教ともいう。ロシア正教・セルビア正教・ジョージア(グルジア)正教・ルーマニア正教など、各国・各地域で教会組織が独立している。	3→4	解説を差し替え。
30	211	NAFTA(北米自由貿易協定)		2020年、USMCA(米国・メキシコ・カナダ協定)の発効に伴い失効。	2→3	文末に追加。
31	212	地図「南北アメリカ大陸の経済的結びつき」	NAFTA(北米自由貿易協定)	USMCA(旧NAFTA)(米国・メキシコ・カナダ協定)	2→3	
32	212	MERCOSUR(メルコスール・南米南部共同市場)	ベネズエラ(資格停止通知)	ベネズエラ(資格停止)	3→4	
33	212	EU(ヨーロッパ連合)	EU離脱を選んだ。	EU離脱を選び、2020年離脱した。	2→3	
34	213	ユーロ	現在導入している国は、旧EU加盟国中	導入国は、1995年までに加盟した15カ国中	3→4	
35	213	地図「ヨーロッパ統合の歩み」		※イギリスの上に「(2020年離脱)」と追記。	2→3	
36	234	ミャンマー連邦共和国	民主化が進む。	民主化が進んだが、2021年2月軍部によるクーデタ、政情不安定。	3→4	
37	242	アフガニスタン＝イスラーム共和国	タリバン政権は崩壊、暫定(ざんてい)政権が成立。2004年に憲法制定、新政権発足。2011年、米軍撤退開始。政情は不安定。主産業は農業と遊牧だが、内戦と空爆で壊滅状態となった。	タリバン政権は崩壊、米・NATO軍に支えられた暫定(ざんてい)政権が成立。しかし政治的な対立と内戦が続く中で、タリバンは復活し首都を制圧、米・NATO軍はアフガニスタンからの撤退を余儀なくされた。	3→4	
38	244	シリア＝アラブ共和国	難民が増加している。	難民が増加。2019年ISIL地域は消滅。	2→3	
39	249	南スーダン共和国	輸送手段の確保が課題となっている。2013年以後内戦。	輸送手段の確保が課題。2013年から続いた内戦は2018年停戦合意。	2→3	
40	251	チャド共和国	ウラン鉱・石油などの埋蔵が確認されている。	石油の輸出が国の経済を支えている。	2→3	
41	251	セネガル共和国		金などの開発が進む。	2→3	文末に追加。
42	260	グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国(イギリス)	2016年、イギリスは国民投票でEU離脱を選び、離脱交渉が進められている。	2020年にEU離脱。	2→3	
43	264	フィンランド共和国	約7万の湖と豊かな森林が国土の特色。	約6万の1ha以上の湖と豊かな森林が国土の特色。	3→4	
44	269	ペラルーシ共和国	1991年に独立。農業は	1991年に独立。1994年以降、長期政権が続く。農業は	2→3	
45	276	カナダ		2020年NAFTA失効、USMCA発効。	2→4	文末に追加。
46	277	アメリカ合衆国		2020年NAFTA失効、USMCA発効。	2→3	文末に追加。
47	283	メキシコ合衆国	1994年にNAFTA(北米自由貿易協定)発足。	1994年に発効したNAFTAは2020年にUSMCAに移行。	2→3	